



豊建設株式会社

環境経営レポート

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)

(活動期間 2023 年9月1日～ 2024 年3月31日)



本社全景

発行日： 2024年5月20日

更新日： 2024年11月21日

目 次

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊建設株式会社は環境経営理念「環境負荷を緩和削減」「環境への適合と調和、共生に配慮」のもと国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を重要な経営課題目標と捉え、企業の継続的価値の追求と社会貢献の実現を両立させることによりすべての人の幸せ、企業の幸せ、だれ一人取り残さない世界の実現に貢献します。

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

豊かな暮らしを支え、次世代への夢の懸け橋に…、地域社会の道路をデザインする。

私たちは、「脱炭素経営」を念頭に置き企業価値を高め、建設業を通じて地域に安心を長く提供し地域社会からより信頼される企業でありたいと願います。

豊建設株式会社は次世代へと続く、鳥取の建設業界の発展を目指します。
常に「お客様の立場に立って考え行動する」

環境経営方針

《環境経営理念》

豊建設株式会社は＜スローガン＞『地域の人々と共に、地域の未来を創造する』を掲げ、“地球環境保護の立場から、自然との調和を考え環境関連法規や業界規範を遵守し、《脱炭素経営での環境負荷の削減を目指した確かなものづくり》》に取組みます”の実践に向けて、本業である建設事業活動を通じて地域社会に貢献いたします。

地域の方々が「道路は通行できてあたり前の暮らし」を送れるよう社会生活基盤を調べ、快適で豊かな生活環境を創ること、これが私たちの使命です。

建設業固有のものから地球環境に至るものまで数多くの環境問題に関心を持ち、持続可能な社会になるよう、環境経営活動に自主的・積極的に社員一丸となって継続的改善に取り組んでまいります。

環境経営への行動指針

1. 課題とチャンスを踏まえて、業務改善を推進します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減を推進します。
4. 廃棄物の発生抑制に努め、建設副産物のリサイクル率の向上を推進します。
5. 適正な利用により水使用量の削減を推進します。
6. 化学物質使用等の適正管理を推進します。
7. 環境に配慮した施工及び工法提案を推進します。
8. 地域社会や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2023年9月1日

代表取締役社長 浅野 大祐

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
 豊建設 株式会社
 代表取締役社長 浅 野 大 祐
- (2) 所在地
 本社 鳥取県米子市古豊千 3 7 2
 倉吉営業所 鳥取県倉吉市馬場町 8 7 4 番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 工事部長 権田 明則 TEL : 0 8 5 9 - 2 7 - 7 2 7 8
- (4) 事業内容
 舗装工事、土木工事、とび・土工工事
- (5) 事業の規模
 売上高 42,727 万円
- | | | | | | |
|----------------------|--------------------|-------|--|--|-----|
| | 本社 | 倉吉営業所 | | | 合計 |
| 従業員 名 | 10 名 | 0 名 | | | 10 |
| 延べ床面積 m ² | 144 m ² | | | | 144 |
- 主要設備
- | 名称 | 台数 | 備考 |
|---------|-----|----|
| バックホウ | 1 台 | |
| ホイールローダ | 1 台 | |
| G K | 1 台 | |
| A F | 1 台 | |
| ローラ | 3 台 | |
| 作業車 | 4 台 | |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 豊建設 株式会社
 対象事業所 : 本社、倉吉営業所
 対象外 : なし
 活動 : 建設業

□事業の紹介

安全・あんしんを追及した限りの無い品質への取組
土木専門工事業業者として、地域に安心と安全を長く提供して行きたいと思います。

・舗装工事業：物流ネットワークを支える確かな技術

舗装事業は、弊社の主たる業種となります。長年培われた技術力と、環境・社会変化に対応する「確かなものづくり」で、地域の皆さまの信頼にお応えいたします。

・土木工事業：社会基盤整備に答える確かな技術

土木事業は公共事業を主に、「確かなものづくり」で社会基盤整備に貢献したいと思ひます。

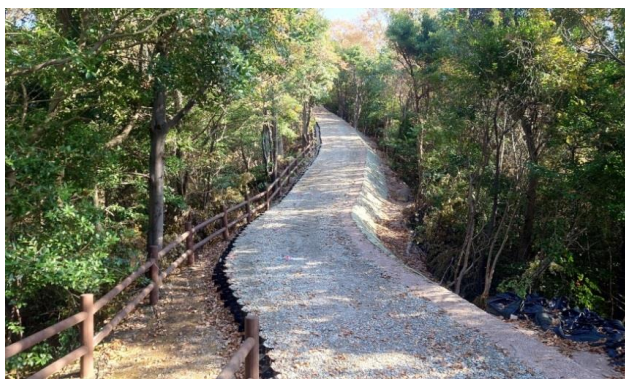
・維持工事業：安全かつ快適な道路交通を目指す確かな技術

「道路は通行できて当たり前」を目標とし、24時間体制で道路整備に取り組んでいます。空きスペースは有効に活用する

【舗装工事業】



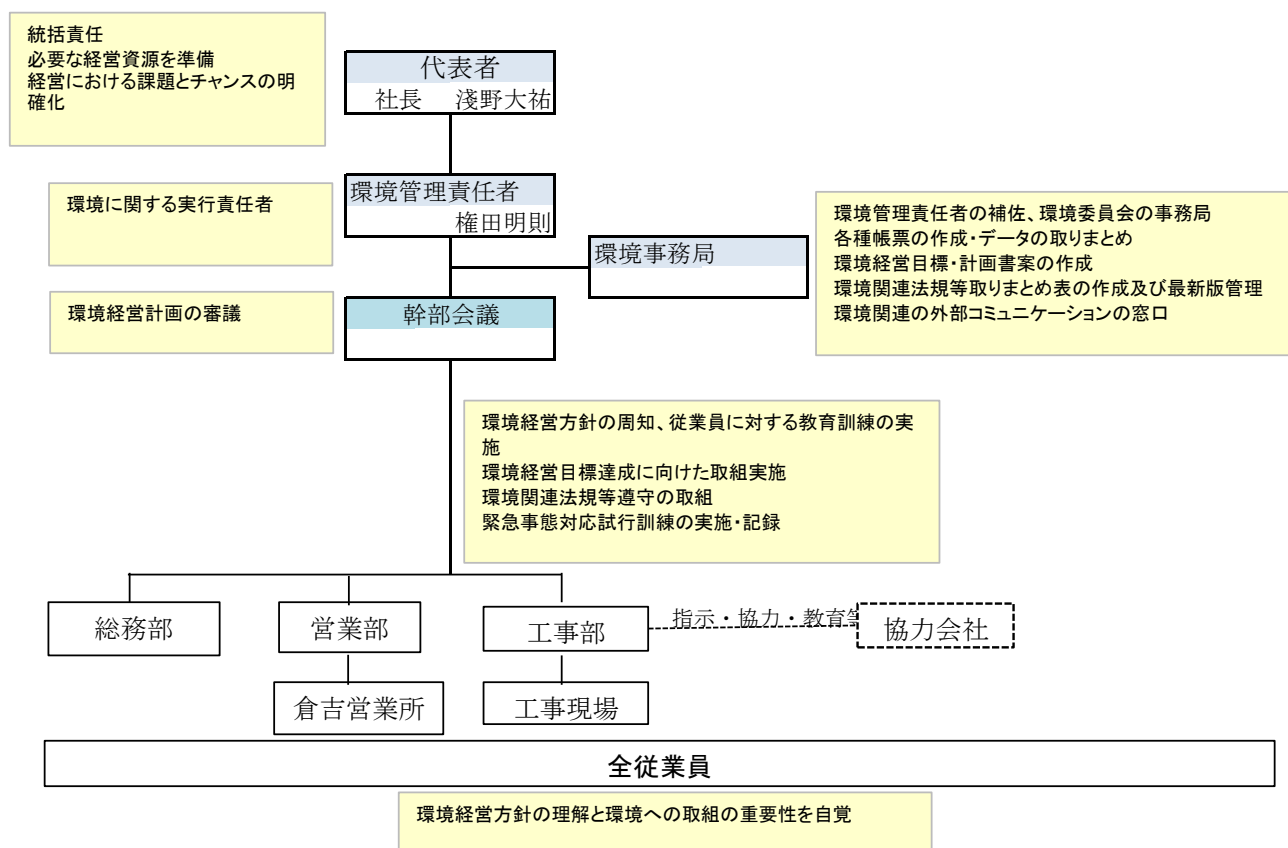
【土木工事業】



【維持工事業】



環境経営組織及び役割・責任・権限



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	112,404	110,599
受託収集運搬量	kg	—	—
廃棄物排出量	—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	217	214
産業廃棄物排出量	t	331	1,267
水使用量	m ³	15	15
※二酸化炭素排出係数		0.521	0.585

kg-CO₂/kWh

※負荷の実績は工事現場を含む

環境経営目標及びその実績

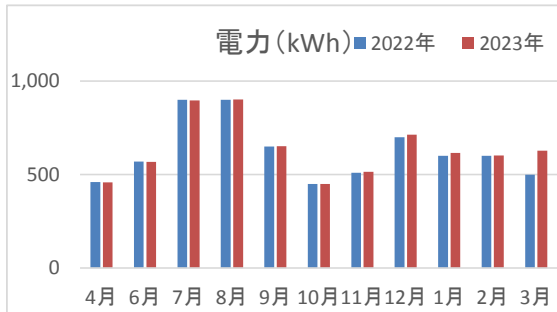
年 度 項 目		2022年	2023年		評 価	2024年	2025年	
			上段：通期 中段：活動期間集計値					
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kWh	7,280	7,134	－		6,989	6,916	
	活動期間	4,010	3,930	4,172	×	－	－	
	基準年度比		98%	104%		96%	95%	
	kg-CO2	3,793	3,717	－		3,641	3,603	
	活動期間	2,089	2,046	2,174	×	－	－	
	基準年度比		98%	104%		96%	95%	
施工重機等による二酸化炭素削減	kg-CO2	104,453	99,231	－		97,142	94,008	
	活動期間	61,909	58,813	65,661	×	－	－	
	基準年度比		95%	106%		93%	90%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	63,998	60,859	67,835		100,783	97,611
一般廃棄物の削減	kg	217	206	－		202	195	
	活動期間	126	120	123	×	－	－	
	基準年度比		95%	98%		93%	90%	
建設副産物再資源化の推進	再資源化%	99%	行動目標（次項による）					
	活動期間		－	100%		－	－	
水道水の削減	m ³	15	14	－		14	14	
	活動期間	5	12	12	×	－	－	
	基準年度比		95%	250%		93%	90%	
化学物質使用の適正管理		行動目標（次項による）						
環境配慮した施工の推進		行動目標（次項による）						
地域の環境保全活動に参加		行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【累計目標：未達成】 2174/2046 ・節電活動は実施できているが年度末工事繁忙期であり期間計画比106%となっている。 ☆引き続き、不必要な照明・待機電力のカット活動を継続する。 特に、空調機器の適温設定を節電掲示により徹底的に取組む。
原単位目標	—	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯での節電励行	△	
・クールビズ/ウォームビズの実施	○	
・待機電力のカット（コンセント抜き）	○	
・空調機の定期点検/フィルター清掃の励行	△	

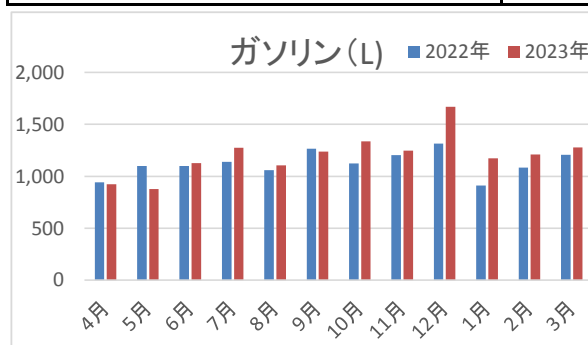


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	460	440	570	900	900	650	450	510	700	600	600	500
2023年	458	435	567	897	902	652	449	514	713	615	602	627

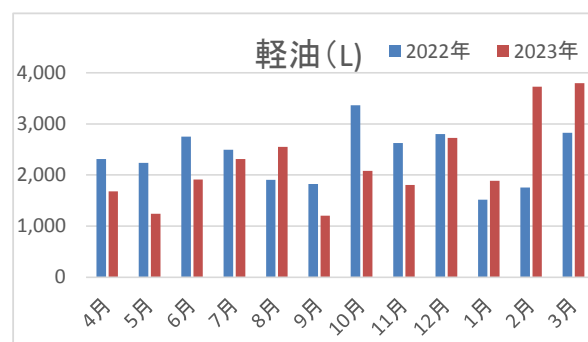
施工重機等による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【累計目標：達成】 65,661/58,813 参考指標⇒出来高前年同期比 125% 期間計画値で計画比112%となっている。 ☆削減対策の目標達成手段の取組みは実行されているが、引続き変化状況を注視する。現場が遠方や近距離とバラツキとなり車両消費関係が変動傾向である今後注視把握して分析していく。
・エコドライブ10のすすめの徹底	○	
・効率的なルートで業務を行う	○	
・建設機械等の省エネ運転の推進	○	
・自主定期点検/整備等の徹底	△	



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	941	1,100	1,099	1,137	1,059	1,264	1,125	1,203	1,314	910	1,084	1,206
2023年	924	877	1,126	1,273	1,106	1,238	1,337	1,246	1,669	1,174	1,209	1,277

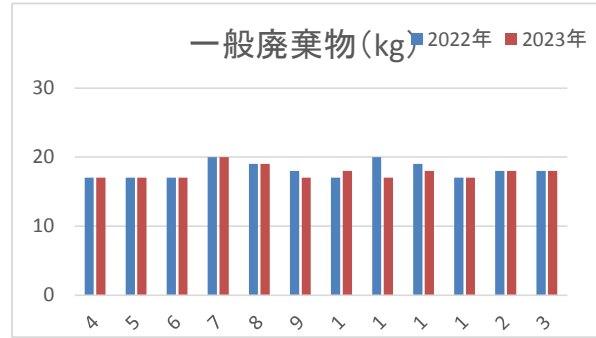


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	2,310	2,233	2,752	2,493	1,904	1,824	3,362	2,625	2,802	1,517	1,753	2,823
2023年	1,679	1,239	1,912	2,310	2,550	1,205	2,080	1,806	2,725	1,884	3,724	3,798

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【累計目標：未達成】123/120 ・ゴミ排出量は把握管理できている。期間計画比102%（前年実績から△3kg） ☆現場発生コンビニごみは、社内に持帰らないようにする。
・分別・回収の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・電子データ帳票化見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	△	

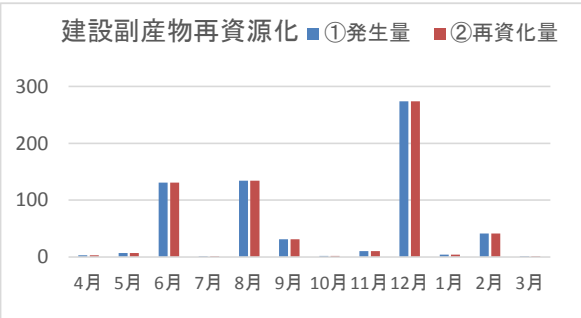


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	17	17	17	20	19	18	17	20	19	17	18	18
2023年	17	17	17	20	19	17	18	17	18	17	18	18

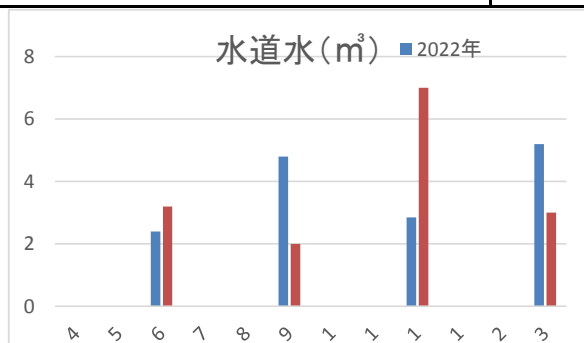
建設副産物再資源化の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・産業廃棄物は、設計とおりに適切処分に供している。 目標計画達成手段は、継続する。
・分別/回収の徹底	○	
・混合廃棄物の削減と分別の徹底	△	
・再資源化先の開拓	△	



取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①発生量	3	7	131	1	134	31	2	10	274	4	41	1
②再資化量	3	7	131	1	134	31	2	10	274	4	41	1

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【累計目標：達成】
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	・節水活動結果として期間目標比90%で達成となっている。
・節水ホースの水栓弁取り付け	×	※引き続き節水活動に取組む、特に工事用水は必要所要水量を事前確認のこと。
・漏水チェックの実施	△	
0		



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年			2			5			3			5
2023年			3			2			7			3

取組紹介欄

化学物質使用の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】
・有害性物質の表示の徹底	○	・使用化学物質のSDSシートは受理でている。
・容器の蓋の徹底	○	※引き続きSDSシート回収を行う。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	◆化学物質使用前にSDSによりPRT法適用を確認する。
・SDSシートの取寄確認及び教育実施	△	
・管理シート作成	△	

取組紹介欄

環境配慮した施工の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】
・省資源/省エネルギー工法の設計提案	○	・ICT（情報化施工）を施工計画書に記載し発注者に承諾を得て取り組んでいる。
・再生資源の利用の提案	○	★今期ICT施工の提案は、順調に展開できて、高評価を得られている。
・低騒音/低振動型機械での施工提案	○	※引き続き環境配慮施工を優先的に選択する。
・施工現場での再資源化の提案	△	

取組紹介欄

地域の環境保全活動に参加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	－	【取組み維持活動：良 好】
・ 地域清掃活動への参加	○	・ 地域の一斉清掃に参加できている。また、周辺道路水路清掃も実施できている。 ※引き続き地域環境活動時には、積極的に参加する。
・ 会社周辺道路水路の清掃	○	
・ 施工現場での環境活動への積極的な参	○	

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物排出事業者（がれき類、廃プラ、木くず等）	○
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	○
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	○
振動規制法	空気圧縮機	○
消防法（危険物）	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設重機空調	○
プラスチック資源循環促進法	排出抑制、教育周知	○
顧客要求事項	環境対応	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境苦情等の受付は、ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月3日（ ）	■実施場所 本社駐車場
■参加者： 総務部 浅野 工務部 権田、渋谷、高島、佐々木、辰巳 奥田、藤井、城田、谷村	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： ・手順書での試行及び訓練実施は、計画とおりに実施できた。 期限切れの消火器使用での訓練は緊迫感効果があり参加者の緊急対応意識の植付けは効果があった。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年3月30日

【環境活動への取組結果状況】

・7月間の取組経過で全員参加での良好な取組実践が継続できている。
出来高の変化の影響もあり全ての取組みでの達成では無いが大きな問題点等はない。
現状活動に満足せず、日頃の継続的な改善チャレンジ活動を通して法令順守と環境保全のパフォーマンス向上を図り、チーム力での実践行動向上により地域社会と顧客様への当社信頼性を高めて企業価値の向上で当社の事業継続性に繋がる取組を目指す。

【課題とチャンスへの取組み】

・『グループ会社としての4つの課題の取組み』については、【良い会社づくり】に繋がる重要な事項であることの意識付け向上は図り、より効果のある具体策へと進化させていくことが求められる。

【法令遵守状況】

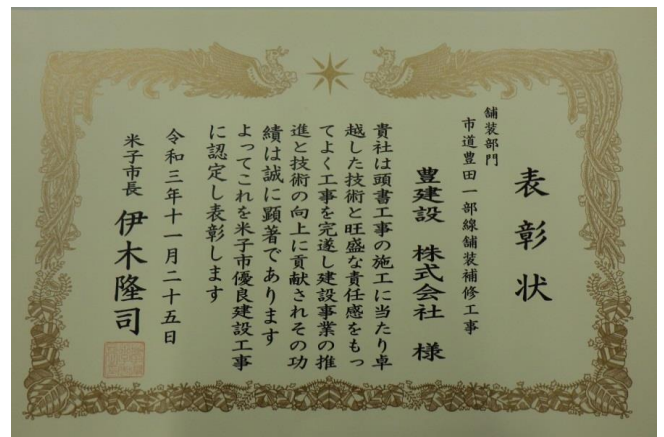
・現場パトロールや法令順守チェックを通じて順守状況は確認できている。
今後も環境法令等については情報把握と周知徹底をすること。
分からないことがあれば、上司にホウレンソウで確認すること。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境経営活動の紹介



米子市 令和6年表彰状 舗装部門
道弓ヶ浜新開線舗装改良工事(その2)



米子市 令和3年表彰状 舗装部門
市道豊田一部線舗装補修工事



社内E A 2 1 環境教育実施状況



地域環境清掃ボランティア活動実施状況